

# 第41回 沖縄県児童養護研究大会 開催要項

## 大会スローガン

子どもの権利擁護と最善の利益の保障と  
未来に希望が持てる生活の実現を目指して

**1. 趣 旨** 児童相談所における児童虐待相談対応件数が過去最多を更新し、また、昨今の社会・経済環境等を背景としてひとり親世帯の子どもの相対的貧困率が高位で推移するなど、子ども・子育て家庭をめぐる課題は複雑化するとともに厳しさをましております。

国においては、令和6年4月から施行となる令和4年改正児童福祉法に基づき、子育て世帯に対する包括的な支援体制の強化及び事業の拡充をはじめ、社会的養育経験者の自立支援や子どもの意見聴取等の仕組みの整備等をすすめることとしております。

こうした社会的養護をとりまく変革期において、児童養護施設等は、24時間365日、緊急的かつ重篤な課題や複雑・多様なニーズがある子どもや母子の個別の養育・支援を担ってきた専門性を活かし、入所する子どもの養育及び母子への支援等とともに、里親支援、地域の中で保護・支援を必要とする子どもやその家族への支援を展開していくことが求められております。

本研究大会は、県内の児童福祉関係者が一堂に会し、子どもの権利擁護と最善の利益保障に向けた課題対応等について考えるとともに、子どもの健全な育成と自立に向けた取り組みの強化に資することを目的に開催します。

**2. 主 催** 社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会、沖縄県児童養護協議会

**3. 日 時** 令和6年10月30日(水) 9時50分開会(受付9時30分～)

**4. 会 場** 沖縄県総合福祉センター ゆいホール 他3会場

### 5. 日程及び内容

9:30	9:50	10:00	10:45	12:15	13:30	16:00
受付	開会	行政説明	講演	昼食	研究部会	終了

#### ■10:00～10:45

【行政説明】 「改正児童福祉法を踏まえた沖縄県の取り組みについて」(仮題)  
(沖縄県こども未来部 こども家庭課)

#### ■10:45～12:15

【講演】 演 題「子どもの最善の利益と『養育』と『権利擁護』について」(仮題)  
講 師 山田 勝美 氏(山梨県立大学 人間福祉学部 教授)

■ 13:30 ~ 16:00

【研究部会】 \*定員数 各 65 名

第1研究部会：子どもの権利擁護と施設内ルールについて

第2研究部会：食事作りに注意する衛生管理について

第3研究部会：発達特性を持つ児童への支援について

## 6. 講演 「こどもの最善の利益と『養育』と『権利擁護』について」

講師：山梨県立大学 人間福祉学部 教授 山田 勝美 氏

山梨県在住。山梨県立大学では子ども家庭福祉・ソーシャルワークを専門領域とされている。また、こども家庭庁子ども・子育て推進調査研究事業委員、全国児童養護施設協議会中央推薦協議員・児童養護編集委員会委員等もつとめている。

### ◆主な著書◆

「虐待を受けた子どもへの自立支援」（中央法規出版、2002年）

「子どもの貧困」（明石書店、2008年）

「子ども家庭福祉」（建帛社、2019年）

## 7. 研究部会 ※ 詳細については、下記のとおり。

子どもの権利擁護と施設内ルールについて	
第1研究部会	令和6年4月に施行された改正児童福祉法においては、子どもの最善の利益を考慮するとともに、子どもの意見又は意向を勘案し、子どもの実情に応じた意見聴取を行うなど、子どもの権利擁護の取り組みを推進することが求められています。 本研究部会では、子どもの権利擁護の取り組みを組織的に進めていくための体制や支援の提供方法を理解するとともに、施設内における子どもの権利擁護の推進のための取り組みを深めることを目的とする。
	運営方法 実践発表、グループ討議
	助言者 山梨県立大学 人間福祉学部 教授 山田 勝美 氏
	発表者 児童養護施設なごみ 主任児童指導員 岸本 航 氏 副主任児童指導員 神山 はるか 氏

第2 研究 部会	食事作りに注意する衛生管理について	
	<p>子ども達の健やかな成長においては、毎日の食事は大切であり、児童福祉施設等においては、給食実施に必要な専門知識について学ぶとともに資質向上を図ることが求められている。</p> <p>本研究部会では、安心・安全な食の提供を通じた児童等への食生活支援のあり方に関する基本的な知識及び技術を深めることを目的とする。</p>	
	運営方法	講義形式
	講師	沖縄県環境科学センター 衛生科学部食品衛生課 技師 玉城 有三 氏
第3 研究 部会	発達特性を持つ児童への支援について	
	<p>児童福祉施設で生活する児童の中には、心身の状況に課題がある、またはその疑いがあるケースが増えている。支援者においては、多様化する支援ニーズを捉え、より良い支援を実践することが求められている。</p> <p>本研究部会では、発達特性を持つ児童への支援に関する理解を深め、児童の個々の状況に応じた援助技術等を学ぶことを目的とする。</p>	
	運営方法	実践発表、質疑応答、グループ討議
	助言者	社会医療法人へいあん 発達相談クリニックそえ〜る 院長 勝連 啓介 氏
発表者	愛隣園 児童指導員 比嘉 みのり 氏 児童指導員 平田 真子 氏 心理士 狩俣 百合香 氏	

**8. 参加対象** 児童養護施設、乳児院、児童自立支援施設、児童心理治療施設、自立援助ホーム、母子生活支援施設、県母子寡婦福祉連合会、県里親会、児童相談所、保育所、福祉事務所等児童福祉関係者、市町村社会福祉協議会、沖縄県子どもの居場所ネットワーク参加団体、民生委員・児童委員、学校関係者、学生 他

**9. 参加費**

1人につき 3,300円

(参加費 3,000円 消費税 300円 ※消費税率 10%)

※参加費の中に弁当代も含まれます。

学生のみ1人につき 1,100円

(参加費 1,000円 消費税 100円 ※消費税率 10%)

※参加費の中に弁当代も含まれます。

(1) 必要な方には「適格簡易請求書」を発行しますので、担当者までお声かけください。

(2) 本会の適格請求書発行事業者登録番号(インボイスナンバー) T4360005000294

10. 申込締切 令和6年10月18日(金)17時まで

11. 申込方法 (1) 本会ホームページからお申込みください。

「受講申込入力フォーム」へアクセスし、必要事項を入力の上、送信してください。

<https://www.okishakyo.or.jp/workshop/>



※最終ページで「自分にも送信内容のメールを送る。」に必ず✓マークを入れてください。受付完了後、確認メールが登録されたメールアドレスに自動送信されます。(確認メールが届かない場合はお問い合わせください)。

- (2) お申し込みと合わせて下記本会指定口座へ参加費をお振込みください。
- (3) 振込手数料は申込者にて御負担ください。
- (4) 申込後のキャンセルについては返金致しません。
- (5) 参加費の現金納付は受け付けいたしません。

金融機関：琉球銀行 石嶺支店 普通預金

口座番号：315935

口座名義：社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会 会長 湧川昌秀

フリガナ：フク. オキナワケンシャカイフクシキョウギカイ

※お振り込み者が確認できるよう。必ず御依頼人名(施設名)を先に御記入ください。

【記入例】「△△園」または「△△園 児童養護施設」と御記入ください。

「児童養護施設 △△園」はNGです。

(通帳記帳の際に「ジドウヨゴシツ…」となり確認できません)

12. 自然災害等による研究大会中止の場合

(1) 参加費については、振込手数料を差し引いた金額を返金いたします。

※自然災害等による研究大会の中止または延期等の御案内は本会ホームページにて掲載いたします (<https://www.okishakyo.or.jp/>)。

13. 個人情報のお取り扱い

申込フォームに入力された個人情報は、当研究大会の運営管理の目的のみに使用し、他の目的に使用することはありません。

14. 申込先及びお問合せ先

沖縄県児童養護協議会・事務局(担当：大城、照屋)

社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会 施設団体福祉部

〒903-8603 那覇市首里石嶺町4-373-1(西棟4階)

TEL: 098-887-2000 FAX: 098-887-2024

E-mail: jiyoukyo@okishakyo.or.jp